

穴水ササユリ会

NO.7

通信 6月号

2025年 6月5日

穴水ササユリ会事務局

群生地再生の看板設置

5月28日、穴水ササユリ会会員10名と吉村光輝穴水町長が参加して越の原ササユリ群生地に「群生地再生」の取り組みを知つてもらうための看板2枚、ササユリ保存のための協力をお願いする看板2枚など合計7枚の看板を設置しました。

この日は、ササユリはまだつぼみの状態でした。ササユリは早ければ5月末から6月初めに咲きますが、越の原のササユリは例年6月20日前後が見ごろになります。

6月3日に1~2個の開花が確認できていましたが、6月4日に再度確認したところ6個くらいの花が咲いており、つぼみも10数個ありました。近い将来、群生とまではいかなくとも山全体がササユリの花の匂いに包まれる日が来ることが期待されます。



看板制作は輪島市門前町ヤマサ工芸社
費用は会員会費・寄付金でまかなわれた。



群生地は6年前にイノシシ被害でほぼ全滅したが、電気柵の整備などで500株以上に回復した。6月に開花する見込み。
願つた。

穴水ササユリ会は28日、穴水町越の原で群生地の再生に取り組んでいることをPRする看板7枚を設置した。メンバー10人と吉村光輝町長が作業に当たり、「町の花」のササユリが咲き誇る姿が受け継がれることを願つた。



寝起きも6月
娘に撮影して
あります。残念ながら
咲いたと思われる
花の部分だけが残
っているものがあります。

5月29日 北國新聞

ノート・ピック

説書

7月28日
当日の活動の様子



☆穴水町花のササユリを守る町有志による保全団体「穴水ササユリ会」が28日、同町越の原の群生地に看板を設置した。写真を取り組みをPRする物や



当日の参加者名

道本	巖夫会長
池上	悟
勝井	寛
幸崎	久史
滝井	元之
滝川	敏明
谷川	毅(輪島)
中前	和人
宮本	浩司
吉岡	幸太郎

(敬称略)

1台車で2名、2~3人の人がおにぎりを持って、声をかけることもなくすぐく引き上げられ、開花を見に来てだけならいいのですが...。(笑)

電気柵への注意を促す物など計7枚。メンバー10人と吉村光輝町長が参加した。群生地は6年前はイノシシによりほぼ全滅状態だったが、電気柵整備などの取り組みが実を結び、現在は約500株まで回復。今年は6月中旬に開花を迎える見込み。

5月30日 北陸朝日新聞

種は会員のボランティアで行かれています。